



初せりで1箱20万円

5月9日に追分花園の野菜集出荷場でアサヒメロンの初出荷が行なわれ、36戸の生産組合員のトップを切つて2戸の農家が品質の検査を受けました。

今回出されたのは4〜6玉入り8kgの箱で10ケース。箱には生産者番号と品質が表示されていました。アサヒメロン生産組合では、今年の作付け面積は38haで販売総額3億8千万円を目標に10月まで出荷していくとのこと。

糖度14度以上のメロンをアサヒメロンのブランドとして出荷しますが、この日は16度以上（昨年同時期は15度）。

初せりでは、4玉入り1箱20万円の値が付きました。



忘れずに接種を

狂犬病予防注射は、生後91日以上の子犬が年に1回必ず接種しなければなりません。今年4月25日から5月11日まで町内の施設を巡回しながら行ない437頭の犬が注射を受けました。

安平町には3月末現在839頭の畜犬が登録されていますが、期間中会場に来ることができなかった方のために2回目の接種を実施する予定です。

「動物病院でも予防注射を受けることができますので、忘れずに接種してください」と町では呼びかけています。

災害時の協力体制に関する協定書に調印

地球温暖化などの影響で各地では大規模な災害が発生しています。安平町は自然災害が比較的少ない方ですが、近年活断層の跡が見つかり新聞にも掲載されました。

こうした状況の中、5月11日にふれあいセンターいぶきで町と安平町建設協会の間で災害時の協力体制に関する協定が結ばれました。「住民が安全で安心できるまちづくりは行政の最大の責任。今後は、資材の提供や人的な支援をお願いしたい」と町長が挨拶。建設協会の西村次郎会長は「自然災害はいつ起きるかわからない。大規模な時は、自衛隊や消防団などに要請しなければならないが、連絡体制や資機材の調達など自分たちができる範囲で協力していきたい」と話していました。



（この部分のテキストは上記の段落で既に記載されています）

木製プランターを寄贈
陸上自衛隊安平駐屯地では隊員の皆さんが勤務時間外に作った木製のプランターを安平町に贈ることになり、5月9日に町長に引き渡しが行なわれました。縦200cm、横25cm、深さ25cmの大型プランターが6個と小型のものが20個。いずれも市販のものが収まる大きさに作られています。町では早来駅前設置してきれいな花を植えた手作りのプランターを皆さんに見ていただく予定です。



製作者代表の高橋さん（右端）と伏木司令



市販の製品が3個入る大型プランター

中国での普及を

5月12日に中国の視察団が山田羔（こう）さんが経営する木のサイロパークゴルフ場を訪れプレーをしながら交流を深めました。

山田さんは8年前からパークゴルフを通して中日友好を進めてきたことが縁で視察地に選ばれたとのこと。また中国ではゴルフは一部の上流階級のスポーツです。手軽にできるパークゴルフを庶民のスポーツとして普及していきたい」と団長の田雄さんは施設づくりに意欲を示していました。



左から山田羔さん、田雄団長。右端が李鉄民元中目領事官。